Okayama Shoka University
Shodai365
学報2005/3月号
Vol.79
岡山商科大学学報
2005年(平成17年)3月28日発行

TOP NEWS

40年を回顧し新しい道を拓く
四十周年記念式典と講演を開催

本学が創立されたのは、昭和四十年四月（一九六五年）のこと。今から四十年をさかのぼります。商学部商学科を擁する単科大学としての出発でした。その後時代や社会の要請に応え商学部産業経営学科を昭和四十六年四月に、法経学部を平成三年、商学部国際観光学科を平成九年に新設。また、平成七年には大学院商学研究科を、平成十年に同法学研究科・経済学研究科を設置。中四国有数の社会科学系総合大学として発展を遂げました。そして今春、平成十七年四月からは商学部商学科・会計学科、法学部法学科、経済学部経済学科の三学部四学科体制として新たな出発をきることになりました。

厳粛に粛々と

一月二十二日（土）四号館四二一教室で開催された創立四十周年を祝う記念式典には、商大の歴史を切り拓き、そして創っていった退職教職員や卒業生、現役の学生、そして行政、産業界、教育関係者など、本学を支えていただいた三九五名のご臨席を賜り、厳粛に挙行されました。

参加者全員で物故者に対する黙祷を捧げた後、本学学長　井尻昭夫から式辞が述べられ「我々一同、本学に課せられている使命をしっかりと受け止め、新たな十年のスタートをさせたい」と、節目を迎えた決意が表明されました。

続いて来賓の岡山県副知事　内野洋子氏、岡山大学学長の河野伊一郎氏、さらに岡山商工会議所会頭　岡崎彬氏からの祝辞、この十年間において特に本学の発展に功労のあった者に対して感謝状の贈呈が行われ、同窓会会長　西山俊明氏と学友会会長　丸橋弘和君（経三）の挨拶をもって式典を閉会しました。

オレ流の真髄を聴く
中日ドラゴンズ　落合博満監督を迎えて

四十周年記念講演には、昨年中日ドラゴンズ監督としてチームをセリーグ優勝に導いた落合博満氏を講師に迎え講演会「オレ流野球」を開催しました。時の人の登壇に聴講者は一、一〇〇名を数え、大きな反響を呼びました。独特の語り口から繰り出される落合氏の野球哲学。聴講者は暗闇へ手繰り寄せられたかのように引き込まれていき、会場はあたかも時間が静止したかのような静寂に包まれたのでした。

また本学商学部　岡本輝代志教授をコーディネーターとしたパネルディスカッションも行われ、落合氏のほか岡山県経営者協会会長で岡山トヨペット（株）社長の　末長範彦氏と岡北中学校校長　曽田佳代子氏がパネリストに加わり、「人を育てるには」とのテーマで、興味深い議論が交わされました。教育論・人生論はもちろん、時には思わぬ方向へ話題が転がりながらも、止めども尽きぬ話題に一時間という時間は少し短すぎたようにさえ感じられたのでした。

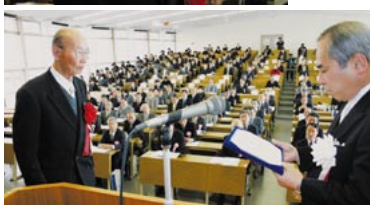
新入生へメッセージ

ご入学おめでとうございます

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。初めてスーツに腕を通して入学式に参加されましたが、どうでした？緊張された方もいれば、そうでない方もいると思います。入学式が終わると同時に大学生活の始まりです。最初は色々と分からないことばかりだと思います。例えばどうやって履修を組んだらいいのだろう？授業は難しいのかな？など。心配はいりません。分からなければ在校生や教職員の人に気軽に声をかければちゃんと応えてくれると思います。

他には新入生を歓迎するイベントが大学にあります。今回は五月中旬ぐらいに企画をしていて、豪華賞品が当たるビンゴや気軽に料理が食べられる会食があったりとします。是非ゼミなどを通して友達となった方と参加してみて下さい。

最後になりましたが、入学式で着たスーツはこれから四年間、あなたのパートナーです。スーツを大事にし、これからの大学生活を頑張って下さい。応援しています。（学友会会長　丸橋弘和）



感謝状の贈呈を受ける好並名誉教授（上）と早川前理事（下）

感謝状贈呈者

学校法人吉備学園前理事	早川　彰 太田　弘輝 石井　那促
岡山商科大学後援会前会長	永山　久也
岡山商科大学名誉教授	阿部　浩二 篠﨑　敏雄 南隅　冥 好並　英司 足立　正常 稲田　準子 今井　和民 植月　徹 金澤　文雄 近藤　正三 近藤篤三郎 杉田　淳子 竹下　昌三 中村　浩路 瀧光　晋作 三浦　肇 三好　正喜 村上　貢 山根　芳知 吉田　博

敬称略

商大トピック

課外活動表彰

賞名	部名	受賞者氏名	学部学科	大会名・種目等（年月日）	成績
学長賞	ウエイトトレーニング部	前川　昌範	商学部産業経営学科	2004年世界ジュニアパワーリフティング選手権大会（16,9,7）	6位
	柔道部	菊川　顕	法経学部法学科	全日本選手権	出場
優秀スポーツ賞	ウエイトトレーニング部	石原　直明	商学部商学科	第31回全日本学生パワーリフティング選手権大会（16,5,30）	4位
		古谷　和也	商学部商学科	第31回全日本学生パワーリフティング選手権大会（16,5,30）	5位
	陸上競技部	井野川晶隆	商学部商学科	第2回日本学生ジュニア陸上競技選手権大会　三段跳び（16,9,25）	8位
	水泳同好会	木阪　剛	商学部商学科	第59回国民体育大会　競泳（16,9,11）	出場
スポーツ賞	柔道部	赤壁　邦幸	商学部商学科	平成16年度中四国学生柔道体重別団体優勝大会（16,8,29）	優勝
		原　正秀	商学部商学科	平成16年度中四国学生柔道体重別団体優勝大会（16,8,29）	優勝
		村上　琢哉	商学部産業経営学科	平成16年度中四国学生柔道体重別選手権大会（16,8,28）	優勝
		山樋　高也	商学部産業経営学科	平成16年度中四国学生柔道体重別選手権大会（16,8,28）	優勝
		宮内　聡志	法経学部法学科	平成16年度中四国学生柔道体重別団体優勝大会（16,8,29）	優勝
	陸上競技部	杉原　直和	商学部商学科	第26回中国四国私立大学対抗　走高跳（16,6,12）	優勝
		松下　輝彦	商学部商学科	第25回中国四国私立大学対抗　やり投げ（14,6,9）	優勝
	卓球部	陶浪　信一	商学部商学科	第55回中国学生卓球選手権秋季大会（16,8,19）	優勝
		森下　泰行	商学部商学科	第54回中国学生卓球選手権秋季大会（15,8,13）	優勝
		大吉　学	法経学部経済学科	第54回中国学生卓球選手権春季大会（15,5,22）	優勝
	ゴルフ部	久保　亮彦	商学部商学科	平成15年度中四国学生ゴルフ連盟秋季1部対抗戦（15,9,17）	優勝
		髙原　拓也	商学部商学科	平成15年度中四国学生ゴルフ連盟秋季1部対抗戦（15,9,17）	優勝
	硬式野球部	染井　忍	商学部商学科	平成15年度中国六大学野球秋季リーグ戦（15,9,6）	ベストナイン

成績優秀者表彰

学科	氏名
商学科	德山　結香※　古谷　和也　吉村　幸人　小澤亜矢子
産業経営学科	妹尾　亜矢※　秋山　勝哉
国際観光学科	藤原実希子※　青木　由香
法学科	小野　裕子※　山本　大介
経済学科	上田　浩彰　磯山　翔一※

※学科代表

Topic 1 第三十七回学位記授与式

誇らかに、明日へ向かって

答辞を述べる卒業生代表　磯山君

春とは名ばかりで、まだまだ肌に感じる風は寒い三月の終わり、本学体育館に於いて第三十七回学位記授与式が挙行され、五五七名の商大生が誇らかに本学を巣立っていきました。

井尻学長らからはなむけの言葉を受けた卒業生を代表して、経済学科　磯山翔一さんが「将来に夢と希望をもって大きくはばたいていきたい」と、社会の荒波に船出する決意を、堂々と、そして高らかに宣誓。式の後は、時を忘れ、恩師や友人と名残惜しく語らう姿が、キャンパスのあちらこちらで見受けられました。

卒業生
・学部
商学科……二六五名
産業経営学科……八十八名
国際観光学科……六十二名
法学科……五十六名
経済学科……七十一名
・大学院
商学研究科……十四名
経済学研究科……一名

Topic 2 社会総合研究所公開講演会

ユビキタス時代のビジネスモデルを考えよう！

慶應義塾大学環境情報学部教授　國領二郎氏を迎えて

二月五日（土）本学七八一教室において本学社会総合研究所主催の公開講演会「ユビキタスネットワーク時代の経営」が開催され、講師に慶應義塾大学環境情報学部教授國領二郎氏を迎えました。

國領氏は、インターネットの急速な普及に伴うブロードバンド時代の今日において、これからどのようなネットワークを構築していくのかについて様々な事例を織り交ぜながら分かりやすくご講演いただきました。ユビキタス時代には、機械中心設計から人間が中心としていろいろな情報を設計する時代へと進展することについて説明し、さらに地域において自律することが可能となり、さらにグローバルな時代へと進んでいくことについて、事例を交えながらご説明されました。

また、インターネットの普及により、組織をオープンにさせたままで、製品の統合性を高めることが出来るもの（ソフトウエアなど）が出現し、これからはオープンな文脈共有の時代へと進展していくことについて語られました。さらに電子タグを例に、顧客・履歴・商品のそれぞれのデータベースが「必要に応じて関連づける」ことができ、「とき」・「ばしょ」を選ばずに情報を得ることの重要性を話されました。そうすることでサプライチェーンの姿も循環型社会へと変化し、オープンな仕掛けで創発を誘発することが可能となり、情報共有による多くのメリットについてビジネス・社会モデルを例に語られました。多くの示唆に富んだ話で、一時間三十分にわたる講演会は幕を閉じました。

（社会総合研究所　次長　西　敏明）

Topic 3 教務課

各種活動や資格を単位認定

特別単位認定科目で一四六名を認定

本学には、教養科目、専門科目、教職課程科目、学芸員課程科目のほかに「インターンシップ」と「実践学習」の二つの分野で構成される特別単位認定科目があります。平成十六年度は、一四六名（昨年度百名）が二単位を認定されました。

●「インターンシップ」関係
百貨店、スーパー、自動車販売会社、地方自治体、商工会議所、ホテル等での実習……十三名

●「実践学習」関係
キャリア開発論Ⅰ・Ⅱ受講者……一二八名
資格・検定の取得
日本漢字能力検定二級、日商販売士検定二級……二名
ボランティア活動
カンボジアスタディーツアー（九月二日～八日）での活動……三名

簿記資格で単位認定

「簿記論Ⅰ・Ⅱ」で七十九名を認定

入学前および入学後に取得した全商簿記検定二級以上、全経簿記検定二級以上、日商簿記検定三級以上の合格証書を教務課に持参のうえ、単位認定申請をすれば、「簿記論Ⅰ・Ⅱ」として四単位が認定される制度があります。平成十六年度は、七十九名がこの制度を利用しました。

Topic 4

永年勤続表彰

田中助教授　表彰

二十年の節目を迎えて

十二月十六日（木）、毎年の恒例となった「年忘れ懇親会」の席上、永年勤続（二十年）の表彰式が行われ、商学部の田中潔　助教授が表彰を受けました（於／岡山プラザホテル）。

井尻学長から賞状を贈呈され、あいさつに立った田中先生は「ネクタイを締めることなど滅多にない」と少しはにかみ加減、ご専門のネットワーク関連の仕事の中で起こったこぼればなしを披露して会場の空気を和ませながらも、仕事に対する篤実な姿勢がひしひしと感じられたのでした。

Topic 5

商大ウィンターセッション

日韓交流を考える

二〇〇五年一月二十九日（日）、岡山商科大学二〇〇四年度ウィンターセッション「国際化時代の日韓交流と観光」が開催されました。このフォーラムでは、本学教員三名の他、韓国の大学、中国地方の観光の現場からも講師の方々をお招きし、主に訪韓観光、訪日観光、観光と文化交流についてご講演を頂きました。

講演及びその後のパネルディスカッションでは、日韓の観光資源とその可能性、現場の抱える観光客誘致に関わる課題、現在の観光をはじめとする日韓交流の意義・課題・将来展望などについて議論がなされました。当日は、本学内外から五十名以上の聴講者の方々にお越し頂きました。フォーラム終了後には、パネラーの方々、及び多くの聴講者の方々から、「様々な視点から日韓交流を考える良い機会になった」というお言葉を頂きました。このフォーラムが今後の日韓交流及び両国の観光振興の一助を担うことができたなら幸いであると考えております。

（国際観光学科）

●パネラー

本学特別研究員　忠清大学（韓国）教授　鄭泰鴻（通訳　張在基（国三））

島根県商工労働部観光振興課主在　松尾周一郎氏

湯原町旅館協同組合事務理事、全国旅館生活衛生同業者組合連合会事務理事　古林伸美氏

商学部教授　野本晃史／同教授　三宅忠明／同助手　全円子

●司会

商学部教授・学科長　飯島祥二／同講師　直井岳人

Topic 6

学内施設を整備

学生生活をサポート

冬季休業を利用して、より快適な学内環境を目指し、学習・生活の両面から学内の施設・設備を整備しました。きっとあなたの学生生活をサポートしてくれるでしょう。

①学館一階食堂を一新

机やイスなど経年による老朽化が目立つ学生会館一階食堂の改装を行いました。机やイスを明るくおしゃれなものに、床全面には紺を基調とした落ち着いた色調のカーペットを張り詰めました。快適なひと時を過ごすことができるような食空間を演出しています。またその一角を「ゲストルーム」と命名、多目的室として開放します。クラスでのコンパ、サークルでのミーティングなど使い方は自由。お茶を飲みながらおしゃれな時間を過ごしてください。

②最新マルチメディア教室

七号館一階の視聴覚教室（七二一教室）を全面改修、まったく新しい発想によるマルチメディア教室をつくりました。最新のAV・OA機器とパソコンが整備されたこの教室は、馬蹄形にゆるやかな曲線を描きながら座席を配置、一味違った、斬新な姿をまとった教室に生まれ変わりました。

③三号館一階に就職課を移動

④井尻記念館一～三階を大学院研究室に

⑤井尻記念館一階（旧イングリッシュカフェ）を非常勤講師室に

⑥八一三教室をパソコン教室に

⑦二四一教室をPC工作室に

Topic 7

情報教育センター

情報化社会へ対応した基礎知識構築

高校教員対象の春季セミナーを開催

本学の情報教育センターでは、高校教員を対象に、春季セミナー（「本格的なホームページを構築しよう」《三月三日（木）～四日（金）》「ベンチャー企業を支えている経済・経営及び国際経済の仕組みと活用」《三月五日（土）》）を三日にわたり開催しました。これは、当センターが毎年長期休業を利用して県内外の高校教員を対象として行っている、本学の高大連携事業の一環にあたり、約四十名の参加者がありました。

初日・二日目は本格的なホームページを構築するための基礎的な知識を修得し、そのスキルをブラッシュアップするため、一日約五時間、コンピューターと向かい合いました。研修会終了後は今後の情報教育について意見交換会が行われ、出席者と当センター長　梅原豪介教授が議論を交わしました。

三日目は情報化時代を迎え、かつて高度成長を支えた経済や経営の仕組みがどのように変わってきたか、情報化時代に積極的に対応し関わっていくための基礎知識づくりを行いました。

平成17年度入試合格者

学部・学科 ＼ 試験区分	商学部		法学部	経済学部
	商学科	会計学科	法学科	経済学科
指定校	50	12	26	25
専門能力	42	3	12	13
一般公募制推薦	114	20	32	50
一般Ⅰ期（AB日程）	34	10	35	36
一般Ⅰ期（C日程）	9	2	7	7
一般Ⅱ期	13	4	10	12
センターⅠ期	19	9	38	25
センターⅡ期	6	3	14	5

単位：人

Campus Canvas

Okayama Shoka University

キャンパスキャンバス

商大・学生魂ここにあり！

本学から初受賞

●県トップアスリート賞

ウェイト部 前川君

岡山県にゆかりの優れたスポーツ選手らに贈られる「県トップアスリート賞」の表彰式が二月二十四日（木）に県庁で行われ、ウェイトトレーニング部の前川昌範君（産四）が本学から初の表彰を受けました。

ご存知のように前川君は二年連続「世界ジュニアパワーリフティング大会」に出場した実績を持ち、文字通り県のトップアスリートとして活躍しています。このパワーリフティングという競技、まだまだ一般的には認知度が高いとはいえませんが、このような活躍が公に認められつつあることは大変嬉しいことです。前川君がこの四年間に果たした役割がどんなに大きなものだったか、彼が握りしめた賞状は物語っているように感じられました。

速報！全日本の切符を手に！

●菊川 顕（法四）

三月十三日（日）山口市のスポーツ文化センター武道館で行われた、柔道 全日本選手権中国予選会で菊川顕君（法四）が二位に食い込み、四月二十九日（金）日本武道館で開催される本選への出場を決めました。在学中に本大会への出場を決めたのは香川義篤氏（法H十六卒）に次ぎ二人目。柔道家なら誰もが憧れる柔道日本一を決める大舞台への出場。先輩がなし得なかった初戦突破に向け、菊川君の戦いはすでに始まっています。

備前「えびす駅伝」で初優勝

●陸上競技部

半世紀を越す伝統を誇る第五十三回「備前市えびす駅伝競走大会」に陸上競技部が出場し、初優勝を果たしました。

二月十一日（金）に備前市 久々井の総合運動公園を発着点に、牛窓までの往復二〇・〇九七五キロの走路で健脚を競った今大会。本学陸上競技部は一時間六分〇三秒のタイムで厳冬の瀬戸内海を望みながら快走を見せ、みごとに栄冠を手中に収めたのです。昨年の津山駅伝に引き続いての勝利に、顧問の岩橋邦彦 商学部教授も手ごたえを掴みつつあるようで、満足げな様子を浮かべていました。一年生の長距離選手が多数在籍する本学陸上部。来年以降の更なる活躍が期待されます。

有意義だったニュージーランド交換留学

商学部産業経営学科 三年 三岳未央

昨年二月より、大学の交換留学生としてニュージーランドにあるロトルアという街で約一年間生活しました。ロトルアは、ニュージーランドでも有名な街で、北島の中央に位置する街です。学校には毎日休まず行き、約三か月間ロトルアにある女子高校で日本語の助手もしました。たくさんの友達もでき、英語の勉強もでき、何もかもが充実していました。

休みの日には、隣の街まで足を延ばしたり、スポーツをして遊びました。長期休暇には、友達と二週間の旅行に出かけたりなどしました。バスや宿の予約、すべてを自分達で行い、旅行に行きました。帰る頃には、話せなかった英語もスムーズに話せるようになり、言葉や文化の違う友達と英語で話しをするのが楽しかったです。

すべてが、初めての事でしたがとても有意義に過ごす事ができました。皆さんもチャンスがあれば是非参加してみて下さい。

在学生の想い

身についたコミュニケーション 四年前には考えられない今の自分

経済学科 三年 丸橋弘和

大学に入って四年経とうとしています。入学当時は履修の組み方も分からないで、その辺にいる在校生を捕まえたり、高校時代の先輩が在学していたので、先輩に聞いたりして教えてもらいました。それが今では懐かしいです。逆に今は教える立場、でもほとんどゴメンわからないと言っています。

自分が大学に入って変わったところは体型もあったりするのですが、一番変わったなと思うのが、人とのコミュニケーションかな？と思います。サークル活動で大体企業の方を相手にしたりするので、言葉遣いを注意したり、人と話す時は相手の目をなるべく見るようにしたり、他にはアルバイトで接客もしているので、話す時なぜか自然と笑顔になったり…なので大学に入って一番変わったのがコミュニケーションだなと思います。

自分は今この大学にいるのは幸せな事じゃないかな？と思います。色々とサークルでは経験させてもらい、嫌なこともありますけど、でも社会で学ぶよりも先に基本を自然と学んでいるので、社会にでても自然とできるような感じがします。本当に四年前では考えられない自分になっている気がします。これからもいろんなことに挑戦していきたいと思います。

エッセー
数珠つなぎ

私の試験対策

法経学部　講師　加藤摩耶

法学部の学生だった頃、私は特別勉強熱心ではありませんでした。多くの人と出会い、遊び、旅をし、楽器に打ち込み、たくさんのアルバイトをして、忙しい日々を過ごしていました。そんな私の「単位獲得のための試験対策」について書きたいと思います。

私は、普段から授業にはマメに出席していました。しかしそれは私が真面目で勉強熱心だったからではなくて、大学に来ている友達に会うためでした。友達に会うついでに授業も聴いて帰る、という感じでした。授業を聴かずに彼らと逃避行というパターンもないではありませんでしたが、それはまれなことでした。なぜなら、私の友達には、遊ぶことは大好きだけれども、「毎度人にノートを写させてもらうのは卑怯だし格好悪い」という美意識をもった人が比較的多かったからです。ですから、そのようなクールな仲間を持つことは重要だと思います。

さて、せっかく聴くからには理解して帰らなければもったいないし、嫌々聴いていたら苦痛です。理解しようと歩み寄りながらじっと聴いていると、「次はどういう展開になるんだろう?」と思える場合があります。こうなると「面白み」がほのかに感じられるようになります（感じられないものは潔く諦めていました）。ですから、「聴くからにはムダにすまい」というがめつさも重要です。

普段からコツコツと予習復習するような勤勉さを持ち合わせていなかった私にとっては、試験一週間前が勝負でした。バイトも調整して出来るだけ休み、スパートをかけて総復習します。その過程でノートと教科書を読み返していると、わかったつもりで実は理解できてなかったところに気がつきます（逆に、授業中理解できなかったところが「なんでわからなかったんだろう?」と氷解することもあります）。そうやって見つけた「穴」を埋めていきます。

また、試験は情報戦です。先生が試験に関してポロッとこぼしてくださったヒントを、偶々聞き逃したりよく理解できなかったり、というのはままあることです。ですから、そのような情報を友達同士で確認したり、先生に伺って確認したりすることも大切です。本当に単位が欲しければ、情報を得る努力を怠るべきではないでしょう。

そして、私は気がつけば大学の講師となり、単位を認定しでもらう側から、認定する側に回っていました。そう、私の試験対策は今でも続いているのです。最大の試験対策は、やはり毎回多少なりとも身を入れて授業を聴くことです。学生が聴いて「理解しよう」と思える、「面白み」を感じる授業をしなければ、私は、私の思うように単位を認定してあげることができず、採点に苦しみ、自己嫌悪に苛まれることになるのです。当たり前のことですが、単位を認定しでもらうための試験対策を講じるほうが、ずうっうっうっうっうっと楽です。全くのところ。

小特集

資格への道のり

スキルアップで差をつけませんか!
平成１７年資格試験対策講座スタート

社会総合研究所では平成17年４月から毎週土曜日を利用して、資格試験対策講座を実施します。開講予定講座は次の通りです。

- パソコン（Word、Excel、Access）講座
- 司法書士講座
- 行政書士講座
- 宅地建物取扱主任者講座
- 販売士２級講座
- イラストレーター３級講座
- 国内旅行業務取扱管理者講座
- 総合旅行業務取扱管理者講座
- ファイナンシャルプランニング技能検定３級講座
- 初級システムアドミニストレータ講座
- 簿記（２・３級）講座

また、この他にも（学）産業能率大学の通信教育プログラム100講座を用意。自分のスケジュールやペースに合わせた学習をすることも出来ます。まずは、図書館６階 社会総合研究所を訪ねてください。

※司法書士・販売士２級・ファイナンシャルプランニング技能検定３級は、６月下旬頃に別途御案内します。

大学院は税理士資格の近道

平成14年４月１日の改正税理士法により、税理士資格取得要件は次のようになりました。

１．税理士試験

税理士審議会が、毎年1回、夏に実施します。この試験の特徴は、科目合格制を採っていることです。**試験科目は税法3科目、会計学2科目**です。

２．税理士試験受験要件

大学または短期大学、専修学校において法律学または経済学を修めた者のほか7種の要件を満たした場合は受験資格があります。

３．税理士試験免除制度

税理士試験において試験科目のうちの一部の科目について試験を免除する制度があります。

①**税法**に属する科目に関する研究により修士の学位を授与された者で、税法に属する科目のいずれか１科目に合格した者は、当該科目以外の２科目の税法科目が免除。

②**会計学**に属する科目に関する研究により修士の学位を授与された者で、会計学に属する科目のいずれか1科目について合格した者は、当該科目以外の１科目の会計科目が免除。

その他４種の条件を満たした場合は一部科目が免除となります。

大学院 商学研究科では、会計学、法学研究科では税法を開講しており、修士の学位が取得できます。税理士を目指す人たちへの近道となっています。

サクセスを勝ち取ろう！

就職便り

Okayama Shoka University

お知らせ

就職課は3号館1階へ移転しました。

内定が近づいた!!
学内合同企業説明会

今年も学内合同企業説明会が開催されております。これは「岡山商科大学の学生を採用したい」との企業からの申し出により始められたもので毎年この時期に開催されております。2月、3月の説明会では述べ約200社の企業人事担当者がお越しになり学生たちは真剣なまなざしで説明を聞いておりました。毎年この説明会をきっかけに多くの学生たちが内定を獲得しており、早い学生は4月には内定が出ます。また、これだけの数の企業が大学で説明会を開催するのは40年の歴史を持つ本学だから可能なことです。今年は4月27日（水）にも開催し、就職活動に出遅れた学生たちにも参加できる環境を作りました。

●第5回　学内合同企業説明会

1. 日　程／4月27日（水）
2. 時　間／13時～16時
3. 場　所／井尻記念館　4階
4. その他／スーツ着用で参加してください

今年も就活バスツアー出発!～大阪・広島へ～

●「関西合同企業説明会バスツアー」

1月25日（火）に、学園バスを利用した「関西合同企業説明会バスツアー」を開催しました。当日は85名もの学生が参加し、バスも当初予想より増便の二便となり、早朝の出発ではありましたが、リクルートスーツに身を包み緊張した面持ちで学園バスに乗り込んでいました。会場である大阪ドーム（大阪市西区）では、毎日就職EXPO2004合同企業説明会（主催：毎日コミュニケーションズ）に参加しました。参加企業数が約200社、参加学生数が約1万人という大規模な合同企業説明会ということもあり、本学学生もスケールの大きさに圧倒されながらも、関西の活発な学生の雰囲気を肌で感じ、積極的に企業ブースを訪問している姿が見られました。

●「中国四国地区オープンセミナーバスツアー」

1月25日に引き続き、2月15日には広島経済大学（広島市）で行われた全国私立大学就職指導研究会（全就研）主催による「中国四国地区オープンセミナー」に学園バスを利用し、43名の本学学生が参加しました。このセミナーは「地方の学生にも日頃聞く事のできない大手企業や各業界のリーディングカンパニー話を聞き、就職活動に役立ててもらおう」という趣旨で開催されており、昨年は本学で開催されました。今回は食品、電気業界の大手企業や地元広島を代表する企業が23社参加、学生の参加も中国、四国地方の学生を中心に1,700人余が参加し、大盛会なものとなりました。テレビのCMで見る商品の製造、流通過程の裏話を聞いたり、各業界や各企業の今後の最新の動向を実際に耳にしたり、学生にとって新たな刺激を受け、今後の就職活動に活かしていく良い機会となり、帰りのバスの中でも「どこの企業聞いた?」「あそこはまだエントリー間に合う?」などの会話が飛び交うなど、学生がまた少し成長した一日になりました。

キャリア開発論等の受講で厚生労働省が就職能力を証明します！

前回の学報でもお知らせいたしましたが、厚生労働省若年者就職基礎能力支援事業（YES-プログラム）認定講座として就職部開講科目「キャリア開発論」の申請をしておりましたが、3月4日付で認定を受けました。

企業が事務・営業系の人材に求める基礎能力「コミュニケーション能力」「職業人意識」「基礎学力」「ビジネスマナー」「資格取得」のうち、資格取得を除く四つの能力を「キャリア開発論Ⅰ」「キャリア開発論Ⅱ」、新規開設科目「キャリア開発論Ⅲ」で習得できます。さらに情報技術関係又は経理・財務関係又は語学関係から一つ以上の資格（前号参照）を取得し厚生労働省に申請することにより「若年者就職基礎能力修得証明書」が発行され、就職の際のアピールにも活用することができます。つまり、単位修得と同時に社会人として通用することを国に認めてもらえる制度、中国地方の大学では岡山商科大学だけのメリットです。

将来のことを真剣に考えている学生の履修を待っています。

厚生労働省若年者就職基礎能力支援事業（YESープログラム）認定予定講座

科目	副題	担当者	講師	単位	配当学年	期	開講日等
実践学習	キャリア開発論Ⅰ（コミュニケーション能力・職業人意識）	富永	塚谷	2	1～4	前期	金曜2限
	キャリア開発論Ⅱ（基礎学力〈社会人常識〉・ビジネスマナー）	富永	塚谷	2	1～4	前期	金曜3限
	キャリア開発論Ⅲ（基礎学力〈読み書き・計算〉）	伊藤	伊藤	2	1～4	後期	木曜2限

「若年者就職基礎能力修得証明書」申請に必要な資格（一つ以上）

領域	資格の名称等
情報技術	基本情報技術者試験、初級システムアドミニストレータ試験、Microsoft Office Specialist Access、Microsoft Office Specialist Excel、Microsoft Office Specialist PowerPoint、Microsoft Office Specialist Word、P検-パソコン検定試験1級、P検－パソコン検定試験2級、P検－パソコン検定試験3級
経理・財務	簿記検定試験1級、簿記検定試験2級、簿記検定試験3級、簿記能力検定試験1級、簿記能力検定試験2級、簿記能力検定試験3級、パソコン財務会計主任者試験1級、パソコン財務会計主任者試験2級、ビジネス・キャリア制度修了認定試験 経理・財務 中級、ビジネス・キャリア制度修了認定試験 経理・財務 初級、BATIC 320点以上
語学力	実用英語技能検定1級、実用英語技能検定準1級、実用英語技能検定2級、実用英語技能検定準2級、TOEIC 500点以上

Information
情報アラカルト

奨学金
学生支援機構説明会

学生支援機構奨学金の説明会を開催します。希望者は必ず出席しましょう。

■日時／4月12日（火）・13日（水）・14日（木）16:30〜

■場所／2号館2階　222教室

詳細は学生課掲示板等で確認してください。

あなたの血液必要とする人がいます
学友会「愛の献血」

恒例となった学友会主催の献血が、一年ぶりに行われます。みなさん、ぜひご協力ください。

■日時／平成17年4月13日（水）10:00〜16:00

■場所／学生会館前

退職教員紹介

■商学部

教授　木村　幾也
平成10年に本学へ赴任。管理会計論・原価計算論などを担当いただきました。定年による退職です。

教授　中村　恒夫
平成10年に本学へ赴任。生産管理論・経営科学などを担当いただきました。定年による退職です。

教授　丸尾　譲
平成13年に本学へ赴任。教職課程を担当いただきました。定年による退職です。

教授　原田　満範
平成14年本学へ赴任。簿記論などを担当いただきました。

助教授　矢吹　雄平
平成９年に本学へ赴任、社会総合研究所次長などを務められました。流通政策論などを担当いただきました。

招聘助教授　李　素萍
平成15年４月、大連学国語学院から来日され、１年間中国語を担当いただきました。任期満了による退職です。

■法経学部

教授　安居　洋
平成７年に本学へ赴任。経済学科長・経済学研究科長を歴任されました。日本経済論・財政学などを担当。定年による退職です。

教授　吉尾　匡三
平成５年本学へ赴任。経済学科長・附属経営研究所長（現　社会総合研究所）・附属図書館長を歴任されました。金融論・銀行論などを担当。定年による退職です。

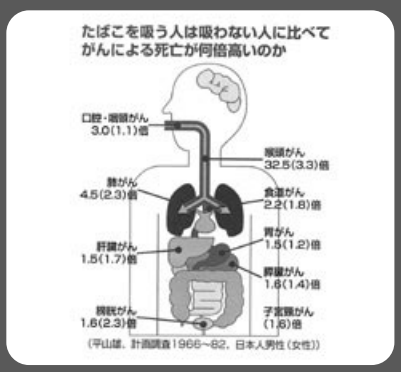
助教授　平井　睦巳
平成８年に本学へ赴任。教職課程を担当いただきました。

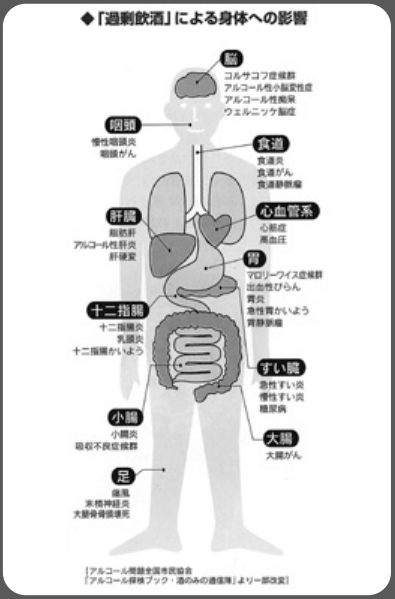
商大よろず掲示板

よろず掲示板では、みなさんからの掲示希望情報を募集しています。学生・父兄の方を問わず、いろいろな情報をお寄せください。

ご入学おめでとうございます
厚生課

健康なキャンパスライフをおくるために、酒・タバコの害についてお知らせいたします。心身ともに元気な状態で毎日を送ってください。





窓口

- ●学生生活の諸問題の相談
  学生相談室（学生課）
- ●心理・精神的な悩みの相談
  カウンセリング室（厚生課）
- ●怪我、急病等の応急手当て
  保健室（厚生課）

“いつでもどこでも”WEBから講義情報ゲット
教務課

WEBを活用した「講義案内システム」の運用を平成16年度から開始しています。このシステムにより、WEBを通じて「いつでもどこでも」講義に関する様々な情報を入手することが可能となりました。具体的には次のようなものです。

①当該年度に履修登録した科目の一覧の確認

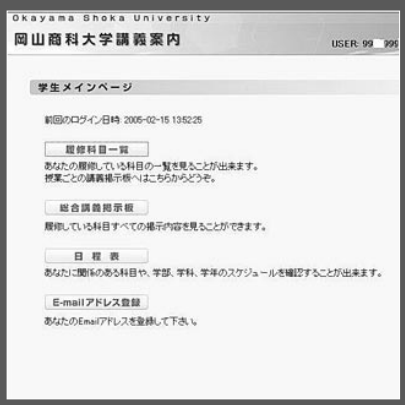
②科目ごとに担当教員からの連絡事項（レポート・テストの案内、資料の配布等）、教室変更、休講、補講等の各種情報

③E-mailアドレスを登録することにより、科目担当教員との双方向の連絡

今後も本システムの充実を図っていきたいと考えています。重要な情報を見逃すことのないように日頃から利用して日々の講義等に役立ててみてください。

なお、利用方法について分らないこと、不明な点があれば教務課までお尋ねください。

▶講義案内システム



社会人聴講者を募集　平成17年度　公開講義（経済学特殊講義）開講

岡山商科大学経済学科では、「公開講義」を開催します。本公開講義は、各教員の得意とする、あるいは今考えている問題について、いくらか高度なレベルで展開することを目的にしています。プログラムは、次の通りです。

経済学特殊講義Ⅰ Economics Alive

日　程	テーマ	講　師
4月 9日（土）1・2時限	「高齢者雇用の必要性とその促進条件」	長尾　周也
4月23日（土）1・2時限	「超高齢化社会の到来と社会保障改革」	山下　隆資
5月 7日（土）1・2時限	「賃金・所得の各種格差:その動向と背景」	有利　隆一
5月21日（土）1・2時限	「生活設計と年金」	喜田栄次郎
6月 4日（土）1・2時限	「地方分権時代における地方行財政改革の課題と展望」	多田憲一郎
6月18日（土）1・2時限	「アジア通貨・金融危機とその後」	大村　茂
7月 2日（土）1・2時限	「歴史に学ぶ経済～産業革命論の動向を中心に～」	両角　成広
7月 9日（土）1時限	「人民元と円、ドル、ユーロ」	河野　快晴

経済学特殊講義Ⅱ Economics on Net

日　程	テーマ	講　師
9月24日（土）1・2時限	「遺伝的プログラミング～株価の予想～」	山根　芳知
10月 8日（土）1・2時限	「景気の見方・読み方～日本経済新聞を読む～」	梅原　嘉介
10月22日（土）1・2時限	「経済統計調査におけるサンプリング法と分析法」	佐井　至道
11月 5日（土）1・2時限	「グローバル化と経済成長」	山下　賢二
11月19日（土）1・2時限	「ネット・ビジネス・イングリッシュ」	井上　省紀
12月 3日（土）1・2時限	「環境をお金で評価する」	森元　早苗
12月17日（土）1・2時限	「産業連関表による地域経済の波及効果分析」	田中　勝次
1月 7日（土）1時限	「ネットの時代、変革の時代（1年間のまとめ）」	河野　快晴

●時　間／1時限目…9:30～11:00　2時限目…11:10～12:40　●会　場／岡山商科大学　7号館1階711教室　●受講料／無　料

※前半「経済学特殊講義Ⅰ」では、"Economics Alive"、また後半「経済学特殊講義Ⅱ」では、"Economics on Net"と題して、それぞれ特徴ある講座を開設する予定です。基本は講義ですが、質問に回答する、また、パソコン画面を見ていただく、コンピュータを使った演習を行うなど興味ある授業ができる工夫を行います。受講者にも、ともに考えていただくなど、講師とともに作っていく講座でありたいと考えています。

お申し込み・お問い合わせ先／教務課　TEL086-256-6653（直通）　FAX086-256-6649

夕学（せきがく）講座スケジュール決定
時代の最先端講演を商大で!

岡山商科大学では本学学生や社会人の自己啓発を支援する衛星放送によるビジネススクール「夕学講座」を開講しています。

2005年度前期は、「人材の論点」「パラダイムイノベータに聞く」「デザインの時代」「日本のゆくえ、世界のゆくえ」「実践　仕事の方法論」の5つのテーマに基づき、多彩な講師陣によりお届けいたします。

聞き逃せない、見逃せない、全てが1回だけの講義!岡山では商科大学でしかご覧いただけません。お問い合わせは本学社会総合研究所（086－256-6656）まで。

■4月15日（金）〈人材の論点〉
▶高橋 俊介
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授
「スローキャリアのすすめ」

■4月20日（水）〈デザインの時代〉
▶千住 博
画家・京都造形芸術大学　副学長
「芸術の力、創造の力」

■4月22日（金）〈人材の論点〉
▶加護野 忠男
神戸大学大学院経営学研究科 教授
「変貌するビジネスシステム」

■5月11日（水）〈パラダイムイノベーターに聞く〉
▶松井 道夫
松井証券株式会社　代表取締役社長
「革命時代の経営哲学」

■5月19日（木）〈日本のゆくえ、世界のゆくえ〉
▶西川 りゅうじん
商業開発研究所レゾン所長・マーケティングコンサルタント
「「変化を捉えて活かす情報力養成講座」～元気な会社・元気な地域の創り方～」

■5月24日（火）〈パラダイムイノベーターに聞く〉
▶堀江 貴文
株式会社ライブドア　代表取締役社長兼最高経営責任者
「実践的起業家論」

■5月25日（水）〈デザインの時代〉
▶安藤 忠雄
建築家・東京大学　名誉教授
「創造的なこころ」

■6月2日（木）〈パラダイムイノベーターに聞く〉
▶堀 義人
グロービス・グループ　グループ代表
「人生の座標軸」

■6月7日（火）〈実践 仕事の方法論〉
▶鴻上 尚史
劇作家・演出家
「自己演出のすすめ～あなたの魅力を演出するヒント～」

■6月14日（火）〈実践 仕事の方法論〉
▶和田 裕美
株式会社ペリエ　代表取締役社長
「営業のテクニックなんていらない～わくわくしさえすれば人は動く～」

■6月15日（水）〈日本のゆくえ、世界のゆくえ〉
▶星野 佳路
株式会社星野リゾート　代表取締役社長
「リゾート再生」

■6月20日（月）〈実践 仕事の方法論〉
▶船川 淳志
グローバルインパクト　代表パートナー
「プロフェッショナルの思考力と対人力」

■7月12日（火）〈実践 仕事の方法論〉
▶水越 豊
ボストンコンサルティンググループ　日本代表
「BCG戦略コンセプト」

■7月19日（火）〈実践 仕事の方法論〉
▶大谷 由里子
有限会社志縁塾　代表取締役・（財）生涯学習開発財団認定コーチ
「元気をつくる「大谷流」コーチング」

■7月20日（水）〈人材の論点〉
▶玄田 有史
東京大学社会科学研究所 助教授
「私の仕事道（しごとみち）」

●会場／岡山商科大学　7号館
●時間は全て18:30～（開場18:00）
●お申し込み・お問い合わせ先
社会総合研究所
☎（086）256-6656（直通）

夕学（せきがく）講座とは慶應義塾の社会人教育機関である慶應丸の内シティキャンパス（慶應MCC）が『夕学五十講』として運営している講座を、サテライト（衛星）通信を利用して生中継する講座です。

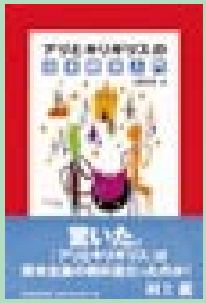
イチオシ！この一冊 6

なぜ真面目に生活しても報われないのか？よりよく生きるための経済入門書

本書は、童話「アリとキリギリス」を日本経済を生きる私たちになぞらえて、今日本経済が不景気である本当の理由や、これから日本経済はどうすればよくなるかを、わかりやすく解き明かそうとした本です。

誰もが感じている『なぜ真面目にコツコツと生活していても報われないのか』、この疑問を「昆虫村」を舞台として簡潔に描き出しています。まえがきと解説を含めても100ページ足らずの量で1時間で読みきることができます。

学生・社会人・主婦…どの立場の方々にとっても日本経済の現状を知り、よりよく生きるための一つの入門書となります。入門書と聞くと堅苦しいイメージがありますが、経済の知識はほとんどなくても読むことができます。さらに、童話の絵本仕立てになっているため、ちょっと一息、気分転換に読む本としても最適です。ぜひ一度手に取ってみてください。（附属図書館）



「アリとキリギリスの日本経済入門」
土居丈朗　著／東洋経済新報社（2003）

商◆大◆四◆季

彩雲の緞帳（どんちょう）（体育館）

昭和60年11月、白色で雲を形どる"彩雲"の織柄模様が鮮やかに浮かぶ緞帳が、体育館の舞台に姿を現した。昭和59・60年の両年度卒業生　約900人の寄付によるもので、同月27日・28日の二日をかけて設置作業が行われた。20年が経過した現在も、体育館で挙行される様々な行事を見守り、その格調高い姿は変わらない。

落合博満　中日ドラゴンズ監督
創立40周年記念講演会「オレ流野球」

まだ心の準備ができてません。ほんとうは日本シリーズでここに来ることができれば一番良かったのでしょうけれど、残念ながら、私のちょっとしたミスで、日本シリーズを負けて、そういうことで一年を終わったということなんですけれども。今「オレ流野球」と言われてこの会場の方々の顔を見ながら、何をしゃべろうかと考えているところです。講演というのはだいたい誰かに原稿を書いてもらうのでしょうけれども。それをしゃべって、丸暗記しても聴いている方も面白くないだろうし、しゃべっている方も面白くないだろうと言うことで、私は一切原稿を持ちません。で、しゃべりながら考えていきますので、時たまどっかとんでもない所へ話が行きましたら、チョッと脱線したよ、と皆さんのほうから声をかけてください。

何を聴きたいのか？

監督になってからこういう講演を色んなところでしますけれども、逆にやり辛くなったんです。なる前は色んな所へ行ってこういうお話をすればいいなっていうところで良かったんですけれども、おそらくどういうことをやって中日ドラゴンズを優勝させたのか、どういう気持ちで選手と接しているのかということを、おそらく聴きたいのだろうと。ただ、逆に話が纏まらなくなってきたというのが今の現状なんです。何を聴きたいんですか、みなさん！それを訊いたほうが早いんだろうと思います。

今日会場に来ている方々でいうと、孫が野球をやっている、息子が野球をやっている、だからどうやったらプロ野球選手になれるのかということなのか？まあ色んなことがあるでしょうけれども。

プロ野球選手の育て方

野球好きにさせろ！そして体をつくれ

プロ野球選手にしたいんだったら簡単なことです。まず野球を好きにさせるってこと。これはサッカーでも何でもかまいません。やる競技、スポーツを好きにさせること。これが大前提です。でその大前提の前に一つだけ言っておくのが、丈夫な体をつくるっていうこと。ここが基本です。昨今プロ野球界でも考えられないようなケガが増えてきています。これはおそらく食生活からくるんだろうと言われています。今日会場に来ている方々はおそらく骨折なんてしたことはないと思います。それはなぜかっていうと、食べ物に原因があると言われています。

「食べ物」の大切さ

で、確かに昔の食べ物は良かった。今は美味いものは多いんです。でも体にいい食べ物が多いかといえばそうじゃないだろうと思います。病気になるように病気になるように、そういう食生活をしている。

我々の時代っていうのは、練習しているときは「水を飲むな！」今は「水を上手にとっていきなさい」どうやったって人間の体は七〇％が水分ですから。これをうまくとっていかないと脱水症状を起こしたり、そのまま死んだりと。だから正反対なことを今はやってます。私らは農薬をまいた田圃の水をかきわけながら、人目を盗んでは水を飲んで、またグラウンドに戻っていった。今考えるとゾッとするようなことを平気でやっていました。今はそういうことをしなくても、ちゃんとどこのグラウンドでも、どこの指導者でも水を飲めるようにしている。いい方には変わってきている。

逆に悪くなっている部分というのも非常に多い。食生活のことに関して自分の息子を、娘をスポーツの世界で大成させようと思ったら、子供はそこまで考える力がありません。親が一生懸命勉強して、何を与えるのが一番いいのか。色んなものを読んだり勉強したりして、それを子供に与えてください。それが第一条件です。あとは人間って好きなことは「もう止めとけ！」って言われてもズーッと続けます。嫌いなことは「やれっ」て言ったってそうはできるもんじゃありません。私も経験がありますけれども、子供が家へ帰って来たら、「宿題やったか勉強しろ」、「風呂入ったか早く寝ろ」、オレが自分が大人になったら絶対自分の子供に言うまいと思っていたヤツをやっぱり言うんですね。確かにみなさんも嫌な経験をしたと思います。そのいやな経験をまた、なぜ自分の子供に言うのか？

長けたものを見つけ出せ

それはヨソ様からあそこの子供はと、後ろ指指されるのが子供にとって不憫だから、だから最低限のことは躾をしなきゃいけないということで、憎まれ口をたたきながら言うんです。勉強しろって言ったって、やんなくてもできる子はできるんです。好きだったらいくらでも上手くなっていくんです。だからそれが勉強に長けているのか、スポーツに長けているのか、芸術に長けているのか、はたまたテレビゲームでね、素晴らしいソフトをつくって億万長者になろうとしている、そういう才能を持っている子供がいるのか。だからどこにその人間の才能が隠されているのか分からないんです。子供っていうのは物凄い才能、隠れた才能を持っています。でも、それに気づいている人間っていうのはほとんどいないと思います。で、それをどうやって親が、学校の先生が、その才能を見つけ出してやるのか？というのが年寄り連中の一つの役割なんだろうな。

プロへの道のり

七回も退部～高校時代～

で、幸い私はその野球でこうやって今生活しています。で、昔の学校は毎日殴るは蹴るはでね、それが日常行われているそういう時代で…。なぜ一年早く生まれてきたヤツにこんだけぶん殴られなきゃいけないのかなっていうことで、高校の野球を、わたし、七回辞めてます。で、最終的に八回目に入って…。自分では戻ったつもりはないんですけれど、大会の前になると監督と部長が呼びにくる。もう足を洗おう、もう辞めようと思いながら…。わたし、学校は勉強で入った訳じゃありませんから。なんせ秋田県でわたし、野球が一番上手かったんです。（笑）どこの学校へ来てでも授業料免除でウチの学校へ来てくれというふうに言われました。じゃあオレはまるっきり勉強ができなくてバカなのかといえば六割の成績は取れたんです。でも偶々入った学校って言うのが八割ないとは入れない学校だったんです。そこの二割をどこで埋めたかといえば、野球で埋めただけなんです。で、そういう、変でしょうね。まあ今だったら大変な種いい時代。ある意味裏口入学じゃないんですけれどもそれに近いものがあります。ほんとは野球を辞めたら学校も辞めなきゃいけないんだろうけれども、それが私立じゃなくて公立の学校だったから、まあ野球を辞めても卒業だけはさせてやるっていう、そういう学校とか先生に恵まれた。

勝負根性を養う

それで大学に入って一年で辞めて、一年間はそれこそ色んなとこでアルバイトをしながら、賭けボーリングをしながら、勝負根性を養っていた。なんせ収入はない訳ですから。収入ないのに、賭けボーリングをする訳ですよ。負けたらお金を払わなきゃいけない。でも貸してくれるところはない。じゃあどうするのか？どんなことをしても負けられない。その辺がわたしの野球を上手くさせた。去年勝った一番の原因なんだろうか。だから勝負事は負けちゃあいけないんです。人生は、別に人に負けようが、何しようがね、対象物が多すぎますから。日本の一億何千人という人口の中でトップを張ろうなんて思ったって、じゃあトップはどこなんだ？あまりにも漠然としすぎていて分からない。野球界の中ではセリーグが六つ、パリーグが六つ、その中の一番上に立ったのが去年は西武ライオ

ンズ、偶々セリーグの一番上に立ったのが中日。やるからには負けられない。

現役 そして監督へ

笑われても一週間

で普通だったらね、就任当時「日本一になりますよ」と口が裂けても言わないでしょう。でもやるからには勝たなきゃいけない。今年から楽天が入ります。おそらく田尾監督は言いません。そこまでオレみたいにバカじゃないだろうから。でも私だったら言います。「楽天？まあ見とけよ、今年のオフになったら優勝してるから」って平気で言うでしょうね。それでできなかったら、一人で笑われてときゃいいんだろうと。笑われるのが嫌だから色んなこと考えるんです。で、できないんですか。笑われたって一か月笑われることはないんですから。一週間たてばみんな忘れてくれる。（笑）それに我慢できるかできないか？わたし、平気ですから。人に何言われようが、何を書かれようがね。そうしなかったらその仕事できないんだところと。ただ、若干世の中で一名だけ笑われるのが嫌な人間がいます。（笑）女房に「ホラ出来なかったろ、ザマアみろ」これだけはねえ、どうやっても避けなきゃいけないんでね。（笑）その為に現役二十年間、頑張れたようなもんです。一日ホームラン三本打とうが、三冠王とろうが「良かったね、おまえすげえな」って言ったこと、うちの女房一回もありません。いつかは言わせてやろうって、二十年間たったんですから。で、やめた時にたった一言「おつかれさん、ご苦労様でしたね」って言われたときに「ああ、オレはやっと救われた」って。

私を動かした人は？

それで、私の中ではプロ野球の監督になろうなんてサラサラ思ってなかったですけど。ところが女房はいつかは監督にさせたい、でその姿を見てみたい、とずうーっと思っていたんでしょうね。おとしの十月に球団から監督の要請がありましてね、電話で話しをしていたら、急に二階から降りてきまして、新聞の広告の裏にマジックで「OK」って書く。OKってことはやれってことでしょ。それでまた電話してきたら、あまりに煮え切らないもんだから次に何をしたかっていうと、「GO」って書いた。じゃあこれでしなきゃいけないんだろうな。それで決まった監督ですからね。動機が不純なんです。決めたのは女房なんですからね。決められたからにはやらなきゃいけない。まあ、ウチの家庭っていうのはそういうもんですから。ちょっとみなさんのところとは違うかもわかりません。

監督として

選手と向き合え

まあ、そっから始まったが、どういうスタッフを連れて行けばいいのか？でスタッフを連れて行くときの、たった一つの条件が、ユニフォームを着た時も、背広になった時も、一切球団の方を向いてくれるな、フロントの方を向いてくれるな、必ず選手の方を向いて物事を考えて実行してくれと。どうやってもみんな生活がありますから、監督の顔色をうかがいながらするよりは、球団の社長、代表の方を向いているほうが一生メシを食えるかもわからない。でも、それだけはやらないでくれと。それをやったら同じ方向に進めなくなるんで、何時、いかなる時も選手のことを考えて、どうやったら上手くすることができ、どうやったら勝てるんだっていう、その一点だけを考えてくれ。

ダメ奴は待たない

で、そっから始まったキャンプなんです。トレードもしない、首切りもしない、外人も連れてこない。なにもしないで現有勢力だけでやろうと。で「現有勢力でやろう、それで優勝しよう」って言ったとき、「またこのバカが、一人で舞い上がって」そう思ったのが、まあ球団の中にも選手にも、あと一般の人にもいたことでしょう。でも言ったからにはやらなきゃいけないだろうと。そのかわり、練習で選手を殺しますよ。ついて来れない奴は別に待ってる必要はない。一年待って首切りだろう。少ない人材をどうやってふるいから落ちないように手助けをして、全員おんなじメシを食えるように、仕事ができるように連れて行ったのが今までの野球界。わたしは手助けするつもりはありませんから。勝負の世界ってのは厳しくてね。勝負の世界より皆さんの生活のほうがもっと厳しいとは思いますけど。ダメな奴は置いてかれてもしょうがないだろう、ということで始まったんです。それでふるいにかけたんです。で、おそらく野球界始まって、優勝した年に十八人の選手のユニフォーム脱がしたのは私が初めてじゃないかと思います。選手十八人、コーチ四人、わたし、首切りましたから。首切るって言ったらちょっと言葉悪いですけど、トレードだしたり、よそのユニフォーム着せたり、あとは解雇したり。

首を切る本意は？

で何故それをしたか？おそらく今、このチームにいても出ることはないだろう。そして辞めてもらわない限りは新しい選手を入れてこれない。で、去年、楽天問題だとか何かのときにある政治家が、野球界はもっと痛みを分かちあわなきゃいけないだとか、優遇されているだとかね、世の中リストラされてるんだからそれは当然だというふうなことを言った政治家がいます。あっ、この人もっと勉強してくれりゃあいいのにな。野球の内情を知らない人にあんまりしゃべってもらいたくないなと。野球界の平均年齢、六年から七年というふうに言われています。七十人いたら七年でチーム全部が変わるんですね。それだけのサイクルで動いています。で、ウチは七十人の中の十八人を切った訳ですから。で、一番言ってもらいたくないそういうことを言われながら、でも、やらなきゃいけない。こっちは首切るのが本意じゃありません。ただ、このチームにいてもゲームに出られないんだったら、ヨソに行ってゲームに出られることを考えてやらなきゃならない。一年でも長くユニフォームを着ていられるという道を探してやるのも私等の仕事なんです。

最初からやれ！泣き言は言うな

で、まあ幸か不幸か十六人の新しい選手が入りました。六十八人体制、ということで準備は進めているんですけど…。まあそうやって始まったところ。だから、いでは自分たちの生活をかけて死に物狂いで野球をやってくれればなあ。私は何が一番嫌かというと、「お前はもう要らないよ」って言われたときに、「もう一年死ぬ気でやるから一年置いてくれ」って。この言葉だけはオレの前で絶対言うなって。じゃあ今まではなんだったんだ？そういう気持ちでやってなかったのか？チャランポランな気持ちでやってたのか。そりゃ人間ですから、必ず切羽詰ったとき、自分の考えていないようなことを口走るときがあります。でも、こういう世界の中で生きてて、死ぬつもりで、死んでもいいからもう一年やらせてくれ、そんな泣き言いうなって。そしたら新しいとこを見つけりゃいいだろう。その手助けはしますよ。

一日十時間の練習

で、おとしの十一月から始まったキャンプの時は、それは悲惨なものでした。だいたい一日十時間練習するんですから。早い奴は朝の九時から、日が暮れるまで、バットを振っているか、ボールを追いかけている。普通人間いくらやろうと思ったって、これは男性と女性違うんです。女性の場合は結構単純作業でも、コツコツと飽きもせずやるんです。ところが男性というのは飽きっぽい。おそらく同じことを一時間やるっていったら、これはもう至難の技だと。それを十時間やらせるんです。だから終わりの時間決めなかったんです。終わりたかったらいつ終わないですけど。ただしお前が練習している間はいつまでもつきあってやるよ。おそらく選手は早く日が暮れないかなと思ったと思います。沖縄は日が長いんです。六時になってもまだ太陽がのぼってますから。待ち遠しかったんでしょうね。

終わるまでトコトン付き合う

で面白い光景がね、選手がグラウンドで練習している間は、コーチ連中は一切宿舎に戻るな。今までの野球界っていうのは、何時からコーチ会議やるから、選手がグラウンドで練習しても、コーチ連中はみんな引き上げて、コーチ会議を行う。選手が練習しているのに帰るっていうのは、これだけは信じられられなかったですね。だから一人でもグラウンドで練習しているんだったら最後まで残っとけ。三人ゲージで打ってる。で最終的に一人になりますね。その時に、ゲージの後に何人のコーチがいるかって、二十人のコーチがズラーッと、みんな見てるんです。でも、これが大切なんですよ。人間、人に見てもらえない、声もかけてもらえない、無視される。これが一番苦痛なんです。この人は私らを見ていてくれるんだ。オレを見ていてくれるんだ。だから、何か

不安なことがあったら、聞いたらもしかして話をしてくれるんじゃないのか。そういう環境をつくれるかどうか。そこがウチの去年勝った一番の原因だろうと思います。今まではソッポ向かれてたんです。あっ俺らみたいな二軍でくすぶっているやつは声もかけてもらえない。見てももらえない。どうせ一年間やったって一軍のゲームに出ることもベンチに入ることもないだろう。だから何をやったって一緒なんだと。それが一・二軍合同でやることによって、彼らのテンションが上がったんです。もしかしたらオレでもゲームに出られるんじゃないだろうか。一軍に上がって行けるんじゃないだろうか。だから、一番変わったこと、目新しい事やったつもりは、わたし一切ありません。ごくごく単純なこと、普通の社会であればそれは当然だよ、ということをやっただけなんです。ただ野球界では、それはものすごく目新しく変わったことをやってるというふうに思われたかもしれません。

いきなり紅白ゲーム？

私ら現役の頃っていうのはだいたい自主トレっていうのは一月の五日か、もしくは七日から始まって二月一日にはもうゲームできるような状態で、暮れも十二月二十六・二十五日ころまでの合同で練習してたんです。それが選手会との取り決めによって十二月・一月はポストシーズンにしてくれと。去年二月一日と二日に紅白ゲームをやりました。昔はやろうと思ったら簡単にできたんです。協約の中にも、必ず二月一日にはちゃんと野球できるようにしてこっていう事はあるんですよ。だから何も二月一日にキャンプと同時に体作りが始まってなんてことは野球協約の中に入ってません。で一日・二日と紅白ゲームをやってね、おかしいじゃないか、選手を殺すつもりか、ケガをさせるつもりか。

包み隠さず見せてくれ

一日・二日になぜ紅白ゲームをやらなきゃいけないのか。練習でいくら自分たちは動けますよ、試合でて、野球やれる体にしてきてますよって言っても、練習っていうのは何もしてなくたって一日・二日はね、ついて行こうと思ったらいけるんですよ。練習はウソつけます。ただゲームとなるとそういう訳にいかないです。気を抜いたらケガします。ある程度のことしてこないと、人間の体って動きません。だからこっちが何を要求したかって言うと、今もっている、例えば二十％の仕上がりしかしてない、五十％の仕上がりしかしていない、その中でお前らどのくらい動けるんだってことをこっちに見せてくれ。それを見てから練習の内容を決める。だから今もっているものを見せてくれ、包み隠さず。今日の講演で皆さんの顔を見て、一体何をしゃべろうかなと考えていたのといっしょなんです。中日ドラゴンズの選手一人一人どういう個性があって、どういう力を持って、どういう潜在能力を持っているかっていうことを私は知りません。知らないから合同でやるし、一日・二日の紅白ゲームは必要なんだと。で選手がこの位試合でできてくれるんだったら、ああこの位のペースでやっていければいいんだなっていうのを、そっから決めればいい。

ケガを恐れて練習はできない

まあそれで六日間練習して一日休み。それでもそんなに練習したら選手はケガするか潰れるんじゃないのか。でもケガすることを大前提にやったら上手くはならないんです。ケガしてシーズンに間に合わなかったら、その戦力はなくなるだろう。じゃあ持ってる力の五十％・六十％でやってその子のいいものが出るのか？とことん追い詰めて、百％の力を出させるには、どれだけ練習させなきゃいけないのか。ケガをしたっていいじゃないか。そしたら人間っていうのは、一回ケガをすると次にしないためにどういうふうにしなきゃいけないのか。そこで学習能力ができます。ケガをする前にケガをしたらどうしよう、そんなこと考えるな。だから元気のいい奴だけでシーズンを乗り切るんです。そこまで徹底して練習させる。でキャンプ終わったときに、確かによく練習についてこれたな。オレがもし現役だったら中日ドラゴンズだけは入りたくないって思います。（笑）そんな練習やってられるか。今ならそうやって言いますけれど、じゃ自分が現役の時にウチの選手のやってることだけのことをやってなかったのか？わたしはおそらくその倍はやってたと思います。しかしオレはその練習できたって、こいつらその練習に耐えられるかどうか、これは別です。ある程度手ごころを加えたつもりですけどね、本当にやらすんだったら、もっとやらせたんだろうと思いますよ。で、もっとけが人が出たかもわからない。で、言っときますけど私がやったことは全てが正しいということは一切ありません。ただ正しくはないんだけれども、自分はこうと思ったら、それを推し進めていかなきゃいけないっていう、そういう気性であることも確かです。

このキャンプはお前らを助ける

でキャンプ終わったときに、これだけの練習量こなしたのは十二球団、おそらく野球史が始まって初めてだろうと。自分たちがグラウンドに立ったときに、不安な要素ってのは色んな所でできます。こうやったらまずいんじゃないか？ああやったらまずいんじゃないか？で、そういうことは一切思わないでくれ。この練習量がシーズンになったら必ずお前たちを助ける。オレらこれだけのことをやってきたんだから絶対誰にも負けない。それだけの準備をしてきたんだから。必ず助けてくれるから。何か不安な時があったらそれを思いだせ。あのキャンプでの練習量を思い出せ。で、それを選手が実行してくれただけです。だから何をしたか？ただ、方向性を決めてやっただけです。日本一になるためにはこういうことをしなきゃいけない。お前らの野球は、まだ甘いんだよと。これだけのことをやって一年でも長く、野球をやれるようなな、そういう下地を作ってくれ。

自分の武器は何なのか？

だから、去年と今年、まるっきりキャンプに入っていく腹づもりが違います。去年はどうやってオーダーを組んで、どういう野球をやらなきゃいけないのか。シーズンを通して悩みました。だって四番バッターいないんですから。まあ、いないっていうか、作れなかったというか。作るだけの素材がなかったというか。パンチ力があるんだけれども足が遅くて守れない、投げれない。それを四番に置いとけるか？これはまず無理だろう。だから、みなさんの中で三拍子揃わなきゃレギュラーになれないだろうっていうふうに思ってるんでしょうけども、二つあったらレギュラー取れます。三つは要らないんです。一つあったら一軍のベンチに入れます。

例えばの話ですよ、もう辞めましたけど、あの、ジャイアンツにいた吉村、北海道で大怪我しました。で、リハビリをしてね、あそこまで野球をできるようになった。どうやっても後半ピンチヒッターに使わなきゃいけない。一点勝負の時在塁なしでヒットを打った。じゃあそのままランナーに置いとくか？いつ故障するか分からない。そしたらジャイアンツの中で一番足の速い奴を一軍に置いときゃいい。走り屋専門です。一番早くて、スタートの切れる奴。それでもプロ野球界ってのは生きていけるんです。ただ自分の持っているものをどうやって磨いていくか。自分の最大なる武器をどうやって表現していくか。それに気付くか気付かないか。気付かないんだったら、こっちが手を差し伸べてお前にはこういうものがあるんだから、一生懸命これを磨いてくれ。そしたらゲーム出る早道なんだよっていう、それを教えてやるのが指導者だろう。

中日　倉本の場合

じゃ去年ウチにいた倉本宣教っていうのが何で一軍に置けたか。当初守りと肩だけが中日ではおそらくナンバーワンだろうと。で、彼は去年のキャンプはほとんどやってないです。わき腹いためてキャンプらしいキャンプはしてません。本人も相当悩んでいました。これだったら開幕に間に合わないし、当然、我々に見せることもできない。まあ、あの子はどっちかというとすぐ顔に出るタイプでね。心配した時の顔って言うのは真っ青になりますから。それと体が動かなくなってくる。でも、どうやっても、こっちが考える戦力とすればセンターにアレックスがいる。ライトに福留がいる。レフトをどうやって使おうか。当初は打てる奴を使って、最終的に守れる奴を一点ゲームの時に守りに使えばいいだろう。なにも今更オープン戦でどれだけ打ったから、どれだけやったから一軍に残そう、そういうこともする必要もないだろう。だからそこで言ったのは、「お前絶対あせるな、もう一回やったらシーズン、パーになるからあせらないで体を直すことだけ考えてくれ。開幕になったら必ず必要な戦力として一軍に置いとくから。必ず最後はレフトの守りはお前でなきゃ困るんだから。オープン戦とかそういうことは一切考えるな」って言ってキャンプ、オープン戦を終わらせたんです。で、ほどんどオープン戦なしで一軍でスタートをしたんです。

だからそういうメンバーっていうのはウチのチームの中では何人かいる。倉本しかり、ファーストを守った渡辺、それからキャッチャーの柳沢、そして岡山県が生んだね、川相とね。この四人に関してはキチンと調整だけしてくれと、ゲームで打ったの打たないのそんなの関係ない。万全な状態でシーズンを迎えくれればいい。要するにそうやってこっちが競争して勝ちとらなきゃいけない奴と、万全であれば、必ずチームに必要な奴、この二通りを分けなきゃならない。

一軍の選手起用とは？

去年五十七人使いました。で、当然ファームのほうから「オイ、誰かいないか？」って言えば元気のいい奴を言っています。抑えてる奴、打ってる奴。しかしいくら二軍で打とうが、いいピッチングしようが、一軍で欲しい戦力は今はこういう戦力だと。ちゃんとゲームに行けるのか、行けないのか。行けるんだったらこっちへくれ。打てなくてもいいんだと。極端な話、ピッチャーがへたってきた。で、今ファームで調子がいいのは誰だ。右は要らない、左がいいんだ。調子悪くてもいい。どうせ勝ちゲームにはほうる訳ないんですから。だから、そうやって今誰が欲しい、誰が必要なんだろう。そこにしても今までの一軍と二軍との選手の使い方は違ってたと思います。だから適材適所にそこに欲しいもの、欲しい人材、当然レギュラーっていうのはウチでも固定されてました。空いているのがファーストとレフトだけだったんです。じゃ、いくら二軍で打ってもそいつを必要としなければ上がって来れない。

だからそれが良いのか悪いのか、わたし判断つきません、今のところ。だから佐藤二軍監督がね、二軍って言わないでくれ。一軍予備軍と言ってくれ。私そのとおりだと思う。二軍でいくら勝とうが何しようが。確かにそこは教育の場です。一軍で数字を残すために必要なんです。訓練なんです。だからある意味プロ野球選手っていえないかも分からない。でもそこで色んな勉強して、色んな経験をつんできて、はじめて一軍で通用するんだ。中には、「中学校・高校・大学・社会人と四番を打ってきた。送りバントなんて一回もしたとがない。だからオレは送りバントはしないんだ。」じゃあお前一軍にきて四番を打てるのか？よくたって七番・八番だろう。七番・八番は、アマチュアの時に、いくら四番だからバントしたことがない、それでメシ食えるのか？チームってのはそういうものじゃないんです。

自分のために野球しろ

それと根本的に考え方が違うっていうのは、球団のために野球をやるなっていうこと。自分たちの生活のために野球をやってくれ。一イニングでも、一打席でも、それが自分たちの生活を守る、給料を上げる。優勝するためにやる、そんなことは別に選手は考えることはないだろう。だから選手の野球に対する考え方、立場と、指導者の野球に対する考え方、立場っていうのは、まるっきり違うんです。そうすると自分勝手だっていうふうに言われるかも分かりません。でも、どんな選手だっていつかは辞めなきゃいけないんです。恨みつらみ言わすことのないようにするためには自分のために野球をやれと。ホームラン打てば給料上がる、三振したら給料下がる。それが選手の置かれている立場なんです。で、その一本のヒット、一つのバント、それをどうやって勝ちに結び付けていくかっていうことを考えるのが指導者、監督。そこを完全に分けてください。優勝するためだとか、球団のためだとか、そんなきれい事は並べるなって。自分の保身をかけて、自分の生活を守るために、余分なことは考えるな。

今語る「オレ流」の真意

こうやってみると、わたし、現役の時からそうでしたからね。だから、協調性がないとか、自分勝手だとかね、わがままだとか、守銭奴だとか。その守銭奴のおかげで今の野球界、どれだけいい思いをしてるか。わたし、辞める時四億五千万もらいました。やれる奴はいくらもらってもいいと思う。ただ、やらない奴まで金くれって言うから、ちょっと気分悪いですね、こっちもね。（笑）だからそうやって考えるとね、立場立場で考えることは全て違うってことです。で、選手の代わりも指導者の代わりもイッパイいるんです。だからどうやって、その与えられた時間で自分は悔いを残さないでやれるかっていうだけの事だけなんです。

だから「オレ流野球」っていうふうに言われても、わたし、非常に困るんです。「オレ流野球」、まっ、普通の人が考えれば勝手な野球っていうふうに解釈するでしょう。オレ流というのは色んな考え方があると思います。自分勝手というのも、その一つでしょう。でも自分の生活を守るためっていうのも、これも一つでしょう。ただ、一つだけいえるのは、悔いを残す人生だけはしたくない、っていうこと。枠を外れてやりなさいって言うことじゃありません。枠の中で精一杯自分の我を出して、やれることにチャレンジして、まあそれで、悔いを残さずに、その仕事、その場面場面を処理していきなさいって言うことなんです。

最後に食べ物のことを…

試合前に大福二つ

ただ、この中で、野球少年、それからお年寄りの方々のために、一つだけ食べ物についてお話します。野球の前に色んなもの食べると思います。おにぎり食べさせたり、そば食べさせたり。でも、これからリトルリーグや色んなところで、監督だコーチで、弁当作っていかなきゃいけない。みなさん、非常に大変だと思います。その時にはね、弁当箱に大福二つ入れて、子供に食べさせてやってください。ゲーム前、練習前ね。余分なもの食べさせることないと思います。あずき類っていうのは体の中に入って熱量として、パワーとして出てくるのが一番早いっていうふうに言われています。まあそれが、ゲームの始まる一時間、乃至一時間半くらい前に、足らないんだったら、三つ食べさせてもいいだろうに。で、もともと「あずき」と「もち」ですから、腹持ちもいいし、あずきがそんなに早くエネルギーなり、パワーとして出てくるんだったら、これが一番良いだろうと。わたし、現役の時、だいたい大福かドラ焼きにしてた。そういうことも考えてください。

一日一本のバナナ

それと、みなさんの中で、体力が落ちてきたって、せっせせっせとジョギングしている方たち、多いと思います。人間というのは運動すればそれだけ寿命が早くくるっていうふうに言われています。極度な運動はしないでください。まして、自分の年を考えたらそんなに無茶できないだろうと。人間生きるには非常に体力が要ります。その体力を維持するために、やっぱりバナナが一番っていうふうに言われる時代になりました。今の体力をただ維持するだけです。バナナ食べたからって体力戻りません。運動するよりはいいと思います。運動するんだったら軽めのウォーキング、それだけで十分だって言われてます。朝飯も食べないでね、五キロ、十キロひと汗かいて、ランニングしてくる。まあそれで風呂に入って、血液がドロドロになって入院した方も最近いますからね。注意してください。最初に話したように水と一緒でね、水のとりかた、それから体力のつけ方に、それを間違わないように。今日会場出る時に、まあ近くにスーパーとか八百屋さんとかあると思います。どうぞ一日一本のバナナを食べて、自分の健康体力を維持してくれれば、今日ここで話したことが有意義になると思います。（笑）

時間が来たようですのでこの辺で終わりたいと思います。ありがとうございました。（拍手）

編集後記

ついに実現、中日 落合監督講演会！
▶本当に来ていただけるんだろうか？ヤキモキした数か月がウソのように時の人は、構えのない自然体でいらっしゃいました。
▶講演が始まって数分経ったころ、会場の空気がスッと監督のお話に引き込まれていった。「こういうのを講演会というのかな？」初めての経験にそう思いました。
▶「みなさんの顔を見てから何を話すか決める」という監督。会場では淡々とした語り口だな、と感じていましたが、後日テープを聴くと、微妙な濃淡があって興味深かった。紙面の都合で全てを掲載することはできませんでしたが、その「濃」の部分は必ず残したつもりです。（O）

●ご意見・ご感想等は、総務企画課学報担当まで　E－Mail／gakuho@po.osu.ac.jp

Shodai365 Vol.79 岡山商科大学学報2005/3月号
発行所 岡山商科大学 〒700-8601岡山市津島京町2丁目10-1 電話(086)252-0642(代)
印刷 山陽印刷株式会社